

総合的に判断し計画した。予算は10年間で2億9百万円を計画している。

③事業の財源
社会資本整備総合交付金の橋梁補修事業に実施する。

④社会資本整備総合交付金は、事業費の何%出るのか。

⑤事業費の65%。

⑥計画的修繕で耐用年数(50年)以上使用できるとい

う考え方か。

⑦大規模修繕や架け替えを

すると、60年間の投資総額は1百20億円必要になる

のに対し、予防保全的な修繕

の場合は60億円に抑えられる

と考えている。

⑧第5期介護保険事業計画

について

前回の常任委員会後、介

護報酬改定内容が決定し、

第1号被保険者保険料の基

準額が年額7万3百円から

7万8百円に変更された。

これまでも、委員会や本

議会において、保険料の高

さや低所得者層への配慮に

ついては指摘してきた。た

だ、本町の利用者の状況を

見ると施設サービスの利用

が多く、保険料を上げる大

きな要因となつてい

る。町も、施設から在宅介護への移行を図り、真に利用者の自立を支援するための、効率化・重点化する方向で見直しを行うとしている。一方、施設サービスの拡充を求め

る意見もあった。

⑨認定こども園(仮称)基本構

想の策定について

①建設予定地について

病院跡地を建設予定地とする。

現保育所の場所について

は、代替施設が必要となる

ので、その確保は困難と判

断した。

②作業スケジュール

24年度に基本設計、25年

度を実施設計、26年度に建

設工事等となり、供用開始

は27年4月とする。

⑩建設予定地周辺の住民

にも意見も聴いて決定する

のが望ましいと思うが。

⑪地域懇談会をどうするか

相談して進めていきたい。

いずれにしても、スムーズ

な形で建設していきたいと

思っている。

⑫建物以外の土地利用を

どう考えているのか。

⑬遊具施設や簡易的なグ

ラウンド用地も含め、全エリアを認定こども園の用地として使用したい。

⑭乳幼児等医療費助成事業

の拡充について

改正(案)

名称 幌延町子ども医療費

対象者 15歳未満児(中学

生まで)

助成の範囲 中学生までの

入院、通院に係る医療費。

重度心身障害者及びひとり

親等家庭医療費の助成対象

者は、その助成額を控除し

た額。

所得制限 廃止。

自己負担額 0円。予防接

種や、入院時の食事療養標

準負担額や薬の容器代など

の、保険医療適用外のもの

は対象外。

町の助成額は6百86万8

千円となり、現行よりも4

百5万8千円の増額となる。

⑮町外の病院で医療を受

けた場合はどうなるのか。

⑯領収書を持参して申請

して頂き、償還払いの手続

きを取らせていただく。

議会の動き

- 1月6日 ▶ 第18回議会報発行特別委員会
- 1月11日 ▶ 第19回議会報発行特別委員会
- 1月19日 ▶ 第20回議会報発行特別委員会
- 1月20日 ▶ 第1回議会運営委員会
- ▶ 第1回総務文教常任委員会
- ▶ 第1回産業厚生常任委員会
- ▶ 第1回議員協議会
- 2月3日 ▶ 第21回議会報発行特別委員会
- 2月9日 ▶ 第22回議会報発行特別委員会
- 2月16日 ▶ 第23回議会報発行特別委員会
- 2月24日 ▶ 第2回議会運営委員会
- ▶ 第2回総務文教常任委員会
- ▶ 第2回産業厚生常任委員会
- ▶ 第2回議員協議会
- 3月5日 ▶ 第3回議会運営委員会
- 3月8日~14日 ▶ 第1回定例会
- 3月14日 ▶ 第4回議会運営委員会
- 3月27日 ▶ 第5回議会運営委員会
- 3月31日 ▶ 武部代議士・吉田道議・三好道議を囲む新春の集い(稚内市)
- 4月2日 ▶ 第24回議会報発行特別委員会
- 4月9日 ▶ 第25回議会報発行特別委員会
- 4月10日 ▶ 第1回全員協議会
- 4月12日 ▶ 道北地域TPP問題を考える講演会(旭川市)
- 4月16日 ▶ 第26回議会報発行特別委員会
- 4月18日~19日 ▶ 宗谷町村議会議長会総会(稚内市)
- 4月20日 ▶ 第2回臨時会
- ▶ 第3回総務文教常任委員会
- ▶ 第3回産業厚生常任委員会



編集にあたって

今年は残雪が多く、遅い春となりました。待った分、山菜がよりおいしくなつていればと願ったりしています。

が上昇している現状では、それもなかなか難しいでしょう。町内に名林公園やふるさとの森がありますし、夜には満天の星空が広がります。徒歩で楽しむという手もありますよ。

さて、3月の定例会も終わり、新年度が始まりました。幌延町で新しいスタートを迎えられる方に「ようこそ幌延町へ」色々などころに出掛けて、楽しい思い出をたくさん作ってください。

ただ、ガソリン等の物価

- 編集委員長 西澤 裕之
- 副編集委員長 佐々木忠光
- 編集委員 植村 隆
- 無量谷 敦